



「安心・信頼される看護部であり続けるために」

副院長・看護部長 上岡 由美子

春の訪れを感じる季節となりました。皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

病院経営・看護部運営は大きな変革を求められる時を迎えました。人口減少と少子高齢・多死社会の進行により、地域医療を取り巻く環境は大きく変化し、医療ニーズも一層多様化しています。そのような中、当院看護部は、地域の皆様にこれまで以上に安心して医療を受けていただける体制づくりを進めております。

今以上に地域の患者さんに安心していただき、信頼される病院であり続けるために「セル看護提供方式」に看護提供体制を変更いたします。

また、テルモ社のHRジョイント導入により業務の効率化を進め、患者さんと向き合う時間の確保にも取り組んでおります。

当院が目指す救急医療体制および高齢者医療の在り方は、その人らしさを支え、人格を尊重した看護の提供です。医療の質の向上とともに、「寄り添う医療」を大切にしていまいります。

地域の皆様の信頼に応える看護部であり続けるため、看護部職員一人ひとりが自覚と責任を持ち、さらなる飛躍を目指してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



「新体制の地域医療連携室のご案内」

地域医療連携室師長 梅川由紀



地域医療連携室は2025年9月より入退院のオペレーションを見直し、入院・退院調整の一元管理とした新体制を開始しました。毎朝、地域医療連携室長である柚木院長をはじめ地域医療連携室スタッフ、病棟師長、外来師長が集まりベッドコントロール会議を開催し、今まで以上に入院需要の増加に対応し、病床の稼働率の安定的な維持を目指しています。

地域の医療機関の皆さんと密接な連携を図り、安心して紹介いただけるよう、迅速な返答・適切な情報共有により患者さんの待機時間の短縮や紹介患者の受け入れ体制を整備し、途切れることのない医療・介護サービスを患者さんが受けられるよう支援していきます。

紹介予約の一本化、診療情報提供者書のスムーズな授受、入退院支援など「紹介しやすい・相談しやすい連携窓口」を目指し、患者さんに最適な医療を提供できるよう、顔の見える連携を推進してまいります。

